

14 AやBなど A, B and others; A, B, etc.; A and B among others

本文	- 例えば、「見せてね」と「見せていただけませんか」など、～【読1: 1.3】 「～けど」や「～ので」や「～し」などで文を終わらせる言い方が多く見られます。【読2: 11.3-4】
説明	など indicates that the given list is not exhaustive. When more than one item is listed, や is commonly used to connect them. When “AやBなど” modifies a noun, there are two patterns: (A) When the noun is a generic noun and it immediately follows など, の is used between など and the noun (文型(b), Ex.3). (B) When the noun is a proper noun or is modified by another modifier, の is usually omitted, in which case, a comma is used after など (文型(c), Exs.4 and 5). For both patterns, the corresponding English is “N like A and B” or “N such as A and B.” In some situations, only one example is presented with など, as in the following example. 飲み物はコーヒーなどを用意して (to prepare) あります。
文型	a. AやBなど{は/も/が/を/に/etc.} b. AやBなどのN c. AやBなど、N/NP
例文	- 日本の食べ物では、寿司や天ぷらなどが好きです。 - 日本に行く機会があったら、東京の他に京都や奈良などにも行ってみたい。 「人」や「日」などの漢字は、読み方がたくさんあって、覚えるのが大変だ。 - 今度の夏休みはイタリアやギリシャなど、ヨーロッパを旅行しようと思っています。 - 日本語には「いらっしゃいます」や「お話しになる」など、色々な敬語がある。

15 ～ため(に)【reason; cause】 because; because of; due to

本文	書き言葉のスタイルは、何を書くか、誰が読むかによって変わるため、気をつけなくてはなりません。【読2: 11.33-35】
説明	When ため(に) is preceded by an adjective or the past form of a verb, it indicates reason or cause. When it is preceded by the non-past form of a verb or a noun, it means either reason/cause or purpose. (See 文法・表現ノート⑥.) The meaning is determined from the context. When ため(に) means reason/cause, it can be replaced by ～から or ～ので, which are less formal than ～ため(に).
文型	a. S-plain ため(に) Exception Adj(na)だ → Adj(na)なため(に) : 不便なため(に) ; Nだ → Nのため(に) : 休みのため(に) b. Nのため(に) : 大雨のため(に) c. {この/その/あの}ため(に)
例文	- コンピュータが壊れたために、レポートが書けませんでした。 - 勉強が忙しいため、あまり友達と会う時間がない。 - トムさんは日本語が上手なため、時々イベントで通訳(interpreter)を頼まれることがある。 - 大雪のため飛行機がキャンセルになった。そのために日本に行けなくなった。

16 ～ようになる come to V; begin to V

～ないようになる stop V-ing, do not V any longer/more

本文	- 適切なスピーチレベルで自然に話せるようになるためには、日本人と色々な場面で話したり、～【読1: 11.14-16】 「…」のところを言わないで話せるようになると、自然で上手な会話に聞こえます。【読2: 11.13-14】
説明	～ようになる indicates a change in someone's habitual behavior or long-lasting state, including capability. Thus, the potential forms of verbs and verbs that indicate one's ability (e.g., 分かる) often occur before よくなる (Exs.3 and 4). The negative forms of verbs can also be used before よくなる, i.e., ～ないようになる (Exs.5 and 6). In this case, however, another form ～なくなる is more commonly used than ～ないようになる. While the difference in meaning between the two is very subtle, ～ないようになる is not natural when the change is not concerning a habitual change in the behavior of someone/something or a long-lasting state of someone/something as in the following examples: ?? 病人が呼吸(breathing)をしないようになった。→ 病人が呼吸をしなくなった。 ?? 明るくなって星が見えないようになった。→ 明るくなって星が見えなくなった。 Note that to express a change in the state of someone or something, {Adj(i)-stem < /Adj(na)に /Nに} なる is commonly used as in the following examples: - 最近ガソリンが高くなった。 - この町は地下鉄ができて交通が便利になった。 - 彼は30歳で社長になった。
文型	V-plain.non-past よくなる : 話すようになる ; 話さないようになる
例文	- スポーツジムに行くようになってから、毎朝早く起きるようになりました。 - 目が悪くなって、本を読む時にめがねをかけるようになった。 - 日本人の友達ができてから、日本語が前よりもっと上手に話せるようになった。 - この動画を見ると、文法がもっとよく分かるようになると思います。 - 父は病気になる前から、あまりお酒を(飲まなく / 飲まないように)になりました。 - 今の人はあまり本を(読まなく / 読まないように)になったと言われている。